

各位

会社名 ログリー株式会社  
代表者名 代表取締役社長 吉永 浩和  
(コード番号: 6579 東証グロース)  
問合せ先 取締役CFO 岸本 雅久  
(TEL. 03-6277-5617)  
(URL. <https://corp.logly.co.jp/>)

### 通期業績予想の修正に関するお知らせ

2023年5月15日に公表致しました、「2023年3月期 決算短信[日本基準](連結)」における2023年3月期通期の連結業績予想値を達成することが、適時開示の基準に照らして困難となったため、通期連結業績予想を下記の通り修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

#### 1. 2024年3月期通期業績予想値の修正 (2023年4月1日~2024年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想値 (A)	百万円 2,643	百万円 34	百万円 30	百万円 13	円 銭 3.63
今回発表予想値 (B)	2,237	△53	△52	△77	△12.13
増減額 (B-A)	△405	△88	△82	△90	
増減率 (%)	△15.3%	—	—	—	
(ご参考) 前期実績 (2023年3月期)	2,690	130	131	126	34.57

## 2. 修正の理由

当社はインターネット広告市場の中の「ネイティブ広告業界」に属しており、当社事業はネイティブ広告プラットフォーム「LOGLY lift」を軸に、広告主（代理店を含む）の広告効果最大化や媒体社（以下メディア）の満足度向上を実現することを継続しておりますが、昨今の世界的な景況感の不透明さが日本においてもネイティブ広告需要を抑制する一因となっております。

また当期第1四半期において、インターネット広告業界の広告表記健全化に対する機運が更に高まりました。その対応をいち早く実施することが当社のブランド価値の維持となると判断し、インターネット広告（ネイティブ広告）のクリーン化に取り組みました。

このような状況の中、当社事業は、世界的な景況感の不透明さが日本においても広告需要を抑制する一因となっていることや、薬事薬機法関連による当社広告審査の厳格化などにより、広告取扱高が減少いたしました。（第1四半期売上高予算達成率93.8%）

この減少した広告案件とCPCを短期的に埋める新しい広告案件を短期的に獲得することは困難であるため、通期業績予想を修正し、当初業績予想と比べて売上高が△15.3%減、△405百万円減の2,237百万円になると修正しました。また、媒体仕入率に関しては、広告運用により通期業績予想に対して乖離が発生しないように媒体仕入率を維持していきますが、修正した売上では固定費を吸収できない程度に下回っている（損益分岐点売上高を下回っている）ため、営業利益に関して、当初業績予想と比べて△88百万円減の△53百万円となりました。また固定費の削減に関しては通期業績予想の段階で、毎年抑制的に推移させてきたため、直ちに固定費を追加的に削減することが困難であるため、短期的には営業利益が赤字となる予測になると判断しております。この結果、親会社株主に帰属する当期純利益は当初業績予想と比べて△90百万円減の△77百万円を見込んでおります。

なお、2023年7月27日に株式会社マイクロアドとの間で資本業務提携を締結し、同日「資本業務提携契約の締結、第三者割当による自己株式の処分、主要株主の異動に関するお知らせ」を開示いたしました。他方、「通期業績予想の修正に関するお知らせ」については、通常当社では四半期ごとに予想の修正検討を行ない、短信開示日に最終決議行なう手順となっていたため、結果として7月27日ではなく本日の開示となりました。今後、当社が資本政策関連の経営判断やそれに伴う開示を行なう際には、業績予想の検討を事前に行ない、適切なタイミングにて開示いたします。

以上